英治へ、

十七日出の手紙、二十三日今日たしかに受取ました。元氣で上陸したときいて大へんよろこんで居ります。長い間だの航海で元氣といっても少々はつかれたでせう。ママも船中は無事である様と、祈って居りました、あの神戸の港（ミナト）を出る時はほんとにさびしかったろう。英治もさびしかったろうしね、ないて居たね、ママが英治ナイタラ、アカンーーと言って居たが聞えなかったやろー。ほんとうにかわいそうで、ママがなかったーーしかし、かなしかったあと、は又、よろこびが付いてまわって居ます。英治が、いつもえんぼうくーと いって居たやろ。ママはそれを思って たのしんで居ます。あっ、して、（ナゴヤ）からの手紙をもらったとき あっ英治から来た、と思って、たのしんでよんだ。又横浜から二通、電報二通、ジャートルヨリの手紙一通と、次々と、安心させてくれて、もう何にも思ふ事はありません、ただく身体を大切にしてくれる事を心から祈って居ます、次に谷沢さんのジョーや、光子からお金がかれてよかったね、又ジョーの所へは、こちらからもお礼状を出します。お姉さんからは、まだ何んぼもお送って来ませんかもし、こなかったら、たのんでやりなさい。小使いのきれないうちにたのむ方がよろしいよ。西沢さんの店もあまり大きくないらしいね まあ谷沢ジョーさんにまかして、たのむのがよろしいかし、西沢さんにもあじよく、話して居りなさい。又どの様な世話になるかも わからないしね、仕事の事については、ジョーさんに相談して、思ふ様にして下さい。よい仕事に取りつく様に祈って居ります、

Source: Nikkei National Museum, 1995-125-2-37-37-1
www.nikkeimuseum.org

ジョーさんもなかく親切なよくわかる人だから、こちらも安心して居ります。ジョーを兄さんと思って何事もかくさずに相談しなさいね。もしよい仕事が見つかって、お金をもらふ様になったら、日本とちがって寒いから毛の暖いくつ下やシャツ上下を買ってはきなさい。風を引かん様に氣を付けなさい。ジャケツも一枚しかないから、かへる様になったら、買って着るのがよろしいよ。兄さんからもらったごばんのジャパンを一度、洗たくにやりなさいね。英治、まだ／＼たらない物がたくさんあるでせう。ママはよくしって居ます。追々と買って行きなさい。ママやパパはまだ／＼元氣ですから、あまり心配をせぬ様にして下さい。船中で一緒であった友達に親切にしてもらって、うれかったときいて、ママもほんとうにうれしく思ひます。小島さん、シンドーさん、も一緒であっていろいろの話を聞いてくれてよかったね。ママもよろこんで居ります。話は変るが西沢様に居られる国良（コクリョ）さんで年頃いくつくらいの人ですか、まだ居られるのですか、しらして下さいよ。英治、仕事／＼と思って、あせらん様にしなさい。ママもえらい仕事ははんたいよ。まだ／＼わかい、これからよ。わかったね。それから英治の本や、ツクエの中にある物は、大切にしてあるから、兄さんの行く時にもっていってもらってあげます。又ママやパパの行く時も色々の物をもって行こうといって居ります。西口さんに西沢様へつれていってもらったのでせうね、又仕事の事や、色々く※

※しく書いて知らして下さい。追々寒くなるから充分体に氣を付けて下さい。ママも毎日よろこびの日を送って居ます。西沢様にもよろしく傳へて下さい。ジョーさんにもママがよろしくたのむといって居ると傳へておいて下さい。いづれどちらにも礼状をだします。

ではまたつぎまで おやすみ。

ママより

英治へ